

継続は力なり。 仕事も、ゴルフも、相撲も。



宇津野社長

宇津野興業株式会社

(名古屋市瑞穂区)

瑞穂区において産業廃棄物処理業を営まれている宇津野興業株式会社。協会理事もされている宇津野社長に会社の事業内容や趣味のことなどいろいろお聞きしました。

—まず、会社の歴史をお聞かせいただけませんか。

宇津野社長（以下宇津野に略）「昭和24年に創業者の先代社長がいまでいうリサイクル、古紙の関係を事業としてはじめたわけです。昭和32年に法人化したしました。」

—主な事業内容を教えていただけませんか。

宇津野「産業廃棄物処理業は当然ですが、一般廃棄物処理業、一般区域貨物自動車運送事業、工場構内清掃請負業、製紙原料商が主な事業内容です。」

—いつ頃からこの業界に入られたのですか。

宇津野「昭和39年に大学卒業と同時にこの業界に入りました。今年で32年目になります。当時はダンプカーもなくすべて人力に頼る時代でした。手積み手降ろしで作業を行っていましたから、いま思うと隔世の感がありますね。」

—ここまで仕事を続けられてくるには何か信条があったからこそできたと思いますが、「座右の銘」などがあれば教えてください。

宇津野「私が一番好きな言葉が「継続は力なり」なんです。どんなことでも続けるということが最高に好きです。事業にしても、つきあいにしても、何でもそうです。」

—では、趣味についてはどうでしょうか。

宇津野「趣味はゴルフくらいです。はじめてから20何年になります。あまり上手ではありませんが続いていますね。」

—宇津野社長といえば相撲、といううわさを耳にしましたが、これについてはいかがですか。宇津野「確かに相撲は私のもう一つの楽しみです。名古屋場所を毎年心待ちにしている一人です。現在の陣幕親方（元横綱北の富士関）とは30年来のつきあいがあります。陣幕親方が元横綱の千代の富士関に年寄九重を名乗らせて九重部屋を譲るまでは、よく私の家に九重部屋の方が出入りしていました。この間直してしまいましたが、相撲取りが楽に座れるようになった一畳以上の特製のほりごたつがありました。面白い時代でしたね。また、九重部屋の親方衆や横綱（元千代の富士関、元北勝海関）と毎年ゴルフを回ったものです。元千代の富士関が部屋の親方になってからは、陣幕親方との交流になりましたが、つきあいは続いています。これも継続の一例かもしれませんね。」



社名/宇津野興業株式会社 所在地/名古屋市瑞穂区井戸町1-85
代表者/宇津野清彦 創業/昭和24年 従業員/78名 TEL/052(853)1245
事業所/本社 営業種別/収集運搬 取扱物品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、ダスト類、引火性廃油、腐食性廃酸、感染性産業廃棄物、特定有害汚泥、特定有害廃酸